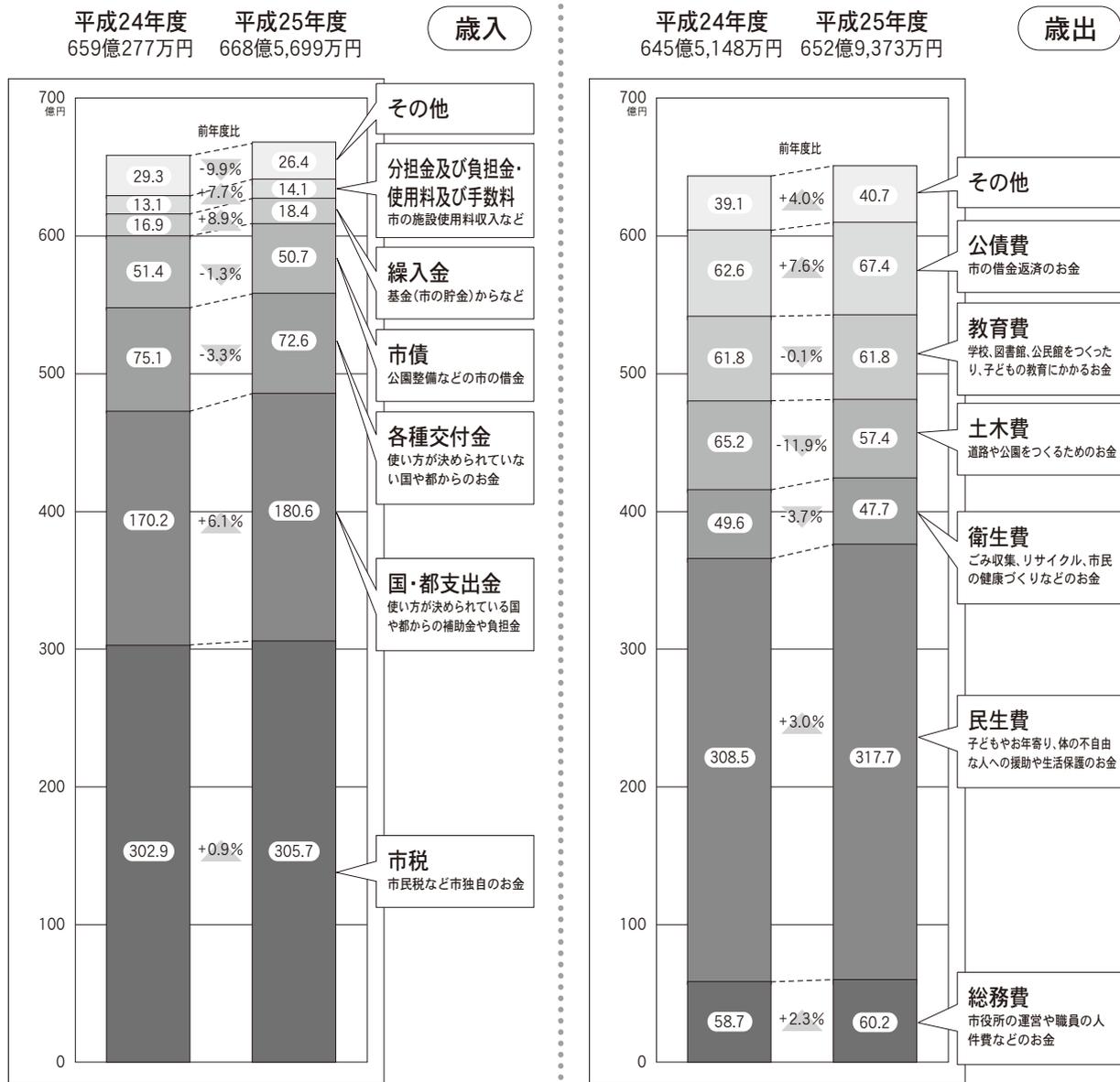


決算特別委員会の審査から

一般会計(歳入・歳出)の推移(平成24年度～平成25年度)



平成25年度決算

◆一般会計
【市からの説明】収入済額は668億5千699万2千415円、

支出済額は652億9千373万9千983円である。
【主な質疑項目】
・実質収支・財政調整基金積み立て、経常収支比率等の決算数値から、昨年

決算特別委員会の審査から

平成25年度決算の主な審査内容をお知らせします。
◇質問の詳しい内容については、12月中旬に発行予定の会議録をご覧ください。
なお、会議録は、両庁舎情報公開コーナー、市ホームページ(12月下旬)でご覧になれます。

度と比べた当市の財政状況の変化について
・ホームページ広告掲載料の1枠の単価、年間の空き等応募状況、広告収入を増やす広告枠の工夫の検討について
・保育料滞納による特定財源の圧迫、確信的滞納について
・財産貸付収入の自販機設置の要綱等契約関係について
・代替店舗の貸付収入・管

理費共益費収入と、修繕料等市としての歳出の、各ビルの収支は、今後売却を含めた検討について
・監査に際してのサンプリング調査について、常勤監査委員設置のメリットについて
・職員定数減による行政執行の停滞、市民サービスへの低下、民間委託導入の考え方、メンタルヘルス疾患による休職職員について。定員適正化計画に

ついて
・住民票等の電子申請の利用の低い原因、マイナンバー導入でどう変わるかについて
・給食食材放射能検査の保育園と小学校の検査食材の選定の状況、J A東京みらいのゲルマニウム測定器の市との連携について
・認知症及びねたきり高齢者等紙おむつ給付事業として認知症を対象とした評価について
・高齢者配食サービス事業の不用額の理由、制度の広報及び健康保持に焦点を合わせたチェック、5事業所の水準の担保について
・被保護者就労支援相談事業によるケースワーカーの負担減等評価と課題について
・ヘルプカードの障害別配付状況、利用者からの評価について
・地域生活支援事業に関して障害福祉全体の動き、推移、サービス提供体制について
・資源物等売払金の増の内訳、障害者施設における小型家電分解の今後の考え方について
・都市と農業が共生するまちづくり事業の東大との連携、話し合いの状況、めぐみちゃんメニューの食歩歩きキャンペーンの参加状況、産業振興課と他部課との連携について
・中小企業事業資金融資あっせん、中小企業特別対策運転資金融資あっせん、利子等補助負担金の不用額、融資申し込み件数と融資実行件数のギャップについて

・プレミアム商品券事業補助金の中小店舗に対する売り上げの効果について
・西武柳沢駅前南口広場修景施設管理委託の内容、夏場の噴水の要望について
・街路等維持管理の電気料金補助金の補助団体数、補助金の漸減、及び自治会管理の撤去したときの防犯上の対処、補助単価の見直しについて
・校庭芝生維持管理の各校これからのメンテナンス等課題、現状の認識について
・図書館の職員定数、正職員等の配置、学校図書専門員との連携について
・学校選択制度による学校別減少数に対する考え方、小規模化の懸念について
・特色ある学校推進事業の内容、執行率の低い要因、改善策について
・通級学級運営事業の田無二中の現状、通級からの進学について
・障害児童等介助事業の介助内容、手続、介助員について
・小学校、中学校給食の給食調理室の空調施設の整備について、地場産農産物活用
・の学校による使用種類の違いについて
・統合協議会委員謝金の不用額の理由、委

員構成、統合協議会だよりの配布方法について
・総合型地域スポーツクラブ補助金のしほらスポーツクラブとコスボ東伏見の内訳、にしほらスポーツクラブのサークル活動、クラブ活動、教室事業の運営上の整理と透明性について
・西原総合教育施設を無償貸与している、にしほらスポーツクラブが収入を上げていく根拠について
◆国民健康保険特別会計
◆下水道事業特別会計
【結果】賛成多数で認定
◆中小企業従業員退職金等共済事業特別会計
◆駐車場事業特別会計
◆介護保険特別会計
◆後期高齢者医療特別会計
【結果】賛成全員で認定

・資源物等売払金の増の内訳、障害者施設における小型家電分解の今後の考え方について
・都市と農業が共生するまちづくり事業の東大との連携、話し合いの状況、めぐみちゃんメニューの食歩歩きキャンペーンの参加状況、産業振興課と他部課との連携について
・中小企業事業資金融資あっせん、中小企業特別対策運転資金融資あっせん、利子等補助負担金の不用額、融資申し込み件数と融資実行件数のギャップについて

平成25年度各会計決算の概要

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計	668億5,699万2,415円	652億9,372万9,983円	15億6,326万2,432円
特別会計			
国民健康保険特別会計	199億3,093万9,582円	194億3,225万245円	4億9,868万9,337円
下水道事業特別会計	43億1,730万6,202円	42億7,253万8,305円	4,476万7,897円
中小企業従業員退職金等共済事業特別会計	2億7,483万2,417円	1億4,629万4,641円	1億2,853万7,776円
駐車場事業特別会計	1億5,136万1,234円	1億4,516万9,953円	619万1,281円
介護保険特別会計	130億1,445万6,434円	128億5,775万4,621円	1億5,670万1,813円
後期高齢者医療特別会計	38億3,176万11円	37億8,215万3,085円	4,960万6,926円
合計	1,083億7,764万8,295円	1,059億2,989万833円	24億4,775万7,462円